

生涯学習の現場に広がる 人の絆と笑顔

水口中央公民館サークル活動

続いて、水口中央公民館でこの日、活動されていたサークルへおじゃましました。

◎押絵クラブ

和室では、押絵クラブに参加の8名の方が活動中でした。

押絵とは、絵のように平面ではなく、布の中に綿などを入れ、その布のパーツを組み立て、立体感を出した布で描く絵のことをいい、外国への贈り物としても人気があります。

細かい手作業を必要とし、一つの作品が出来上がるのに数か月かかるそうです。ハギレを選ぶ方、型紙を布でくみコテをあてる方など、講師の指導を受けながら、それぞれが作品づくりに励んでおられました。

押絵の代表的な作品では羽子板があります。一つの作品として見たことはありますが、製作過程を見るのは初めて、昔から続く押絵の技術ですが、私にとっては、新しい「和」の世界に触れたひとときでした。



■新しい和の世界「押絵」にふれたひととき



■押絵クラブの皆さんと

◎和紙ちぎり絵の会

和紙ちぎり絵の会では、この日7名の方が活動されていました。

ちぎり絵の作品は、はさみを一切使わず、和紙を手でちぎって作るとお聞きしました。ちぎってできた和紙の濃淡を活かして、花や風景などさまざまな模様が描かれます。配色を考えるのが難しいそうですが、何枚もの和紙を見比べながら頭を悩ませるのもまた楽しみのようです。

出来上がった作品からは、和紙の持つやさしさとあたたかさが伝わってきました。

■花とともに和やかなひととき



■水口生花同好会の皆さんと

◎水口生花同好会

花に親しまれる水口生花同好会の皆さんにもお会いしました。

この日のテーマは「生活空間に合う生け方」。お伺いしたときには、皆さんの作品がほぼ完成していましたが、それぞれの作品は、同じ生け方であっても個性がうまく表現されているように感じました。

最近では、生活様式に合わせて生け花も変わってきているそうです。日本のすばらしい伝統を大切に、花を通じて感動する心を未来に届けたいというお気持ちを伺うなど、和やかな時間を過ごしました。

市長



ぐるっと

第13回

平成17年度から始まった市長ぐるっとトークも4年目を迎えました。
4月23日には、13回目の市長ぐるっとトークを開催、中嶋市長が市民の皆さんの活動の場にお伺いしました。

甲賀市の活気は、
皆さんの元気が
支えます

県ゲートボール連盟
甲賀地域協議会総会

この日は、まず、水口中央公民館で開催された県ゲートボール連盟甲賀地域協議会総会に出席しました。この会では、「健康で長生き」をモットーに週3回程度、活動されています。ゲートボールに励む皆さんは、若々しく元気な方ばかりです。また、子どもたちの安全な登下校のためにいつも気を配っていただいています。高齢化により会員数が減少するなど課題があるそうですが、健康である限り一生続けていただきたいと思います。



■県ゲートボール連盟甲賀地域協議会総会に出席

元気な子どもたちに 囲まれて

水口地域2歳6か月児相談

次に、水口保健センターで開催されていた2歳6か月児相談に立ち寄りしました。

相談の待ち時間に保護者の皆さんに、日ごろ子育てについて感じておられること、ご意見ご要望をお聞きしました。

お話を聞かせていただいている時に、小さな子どもさんがひざの上に座ってくれました。子どもたちの元気にふれ、お母さん方にも気軽に話しかけていただき、一緒に写真に納まるなど、心なごもひとときでした。



■2歳6か月児相談でお母さん方との語りこ



■市長のひざの上がお気に入りの子もたち